□□ CMS News Letter □□□□□□□□□□□□□Core Micro Systems □□□

業界初の省電力（80%オフ）超高密度（2PB/ラック）を実現した
次世代グリーンHPC向け超高性能／超大容量スケールアウトストレージ
「Clustor MAX」 シリーズを発表

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ Vol.015 2011/07/13 □□

いつもお世話になっております。
コアマイクロシステムズの吉政でございます。

本日、発表しました「Clustor MAX」についてお伝えしたく、メールマガジンを発行いたしました。

近年の科学技術振興と産業技術競争力向上に欠かせないハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）が益々重要な時代になりつつあります。しかしながら、最近特に顕著な問題として電力消費が取り上げられています。
HPCにおけるストレージへの性能／容量要求が年々高まる中で、この電力消費を効率的に低減させる事が大変重要になってきています。

そこで、弊社では、長年のストレージ技術を高度に融合し、今回、業界で初めての超高密度／省電力、低価格なスケールアウトストレージ「Clustor MAX」シリーズをHPCマーケットに提供します。これにより日本のHPC競争力向上に貢献したいと考えています。

最新技術による省電力（80%オフ）超高密度（2PB/ラック）グリーンHPC向け超高性能／超大容量スケールアウトストレージ「Clustor MAX」 シリーズをご注目ください。

それでは、今号も宜しくお願いいたします。

□□ INDEX □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[News & Topics]

◇7月13日報道発表

業界初の省電力（80%オフ）超高密度（2PB/ラック）を実現した
次世代グリーンHPC向け超高性能／超大容量スケールアウトストレージ
「Clustor MAX」 シリーズを発表

[ストレージ・マーケティングコラム]

第三回：「Clustor MAX」に活用されている省電力技術「MAID」とは

□□□

◆◆>[News & Topics]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[News & Topics]

◇7月13日報道発表

業界初の省電力（80%オフ）超高密度（2PB/ラック）を実現した
次世代グリーンHPC向け超高性能／超大容量スケールアウトストレージ
「Clustor MAX」 シリーズを発表

＜報道発表原文＞
http://www.cmsinc.co.jp/news/2011/news20110713.html

＜解説＞
「Clustor MAX」は長年のストレージ技術を高度に融合し、今回、業界で初めての超高密度／省電力を実現した低価格なMAIDを活用したスケールアウトストレージです。「Clustor MAX」の特長は以下の通りです。詳細は上記の報道発表原文をご覧ください。

・次世代省電力モードMAID2.0 レベル4（最大75%以上電力低減）に対応
・1U当たり16台の3.5″HDDを搭載できる超高密度ディスクエンクロージャ構造
・大規模HPCクラスタ（LINUXベース、WINDOWSベース）に柔軟に対応するマルチプロトコルスケールアウトクラスタストレージ
・高性能IOPSスケールアウトストレージ及び超大容量スケールアウトストレージの2つの構成を用意
・リニアスケールアウト特性（性能／容量）
・I/O要求特性に合わせてストレージメディアの選択が可
（SSD、ISK SAS、7.2K ニアライン　SAS/SATA）
・ディバイスレベルデータインテグリティ（RAID6／RAID10）及び、クラスタレベルデータインテグリティ（ミラーリング／レプリケーション）

ご興味がある方は、以下よりお問い合わせいただければ幸いです。また、製品担当とお電話で情報交換させていただくと、ストレージのより良い活用方法のヒントが生まれると思います。お気軽にお申し付けください。

コアマイクロシステムズ株式会社　営業部
TEL：050-5558-5410（IP電話）　Email：sales@cmsinc.co.jp
お問い合わせフォーム：http://www.cmsinc.co.jp/form/index.html

◆◆>[ストレージ・マーケティングコラム　]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第三回：「Clustor MAX」に活用されている省電力技術「MAID」とは

◇◇◇

れています。

上記に記載されている消費電力量や復帰時間はストレージの性能によって差があります。あくまで参考値としてご理解ください。

MAIDは新しい技術ではないですが、このご時世の中、今後の注目の技術の一つであることは間違いないと思います。是非、ご注目ください。

（吉政　忠志）

□□□